

令和元年度「大妻女子大学および短期大学部卒業後アンケート」実施報告書

[目的]

大学・短大在学中の学習や諸経験が卒業後のキャリアや生活にどのような関係があるのか検証する。

[対象]

2016年度卒業の大学・短大生 1,557名

[実施時期]

4月10日局出 回答締切日 5月31日

[実施方法]

卒業生の登録回答用紙を利用し全3問を回答する。

[実施責任者]

企画・戦略室

[実施結果]

対象者 1,557名 返却率 14.9% 返却者数 232名

<設問内容、回答選択肢>

本調査は、大学在学中の学習や諸経験が卒業後のキャリアや生活とどのような関係にあるのか検証し、大学・短大における教育内容やサービスの改善、在学生が自分の進路を考えるための参考資料に活用させていただきます。

Q1. 母校で学んだことや体験した次の項目について、実社会で役に立っていると思われる選択肢に○を、役に立っていないと思われる選択肢に×をつけてください。（複数回答可）

【選択肢】

<input type="checkbox"/>	①専門教育の授業
<input type="checkbox"/>	②ゼミナール・卒業論文・卒業研究
<input type="checkbox"/>	③全学共通科目（教養科目）の授業
<input type="checkbox"/>	④外国語教育
<input type="checkbox"/>	⑤コンピュータ教育、情報教育
<input type="checkbox"/>	⑥キャリア教育
<input type="checkbox"/>	⑦資格取得
<input type="checkbox"/>	⑧海外留学、語学研修、課外英語力強化プログラム
<input type="checkbox"/>	⑨大妻マネジメントアカデミー（OMA）
<input type="checkbox"/>	⑩教員との交流
<input type="checkbox"/>	⑪事務職員との交流
<input type="checkbox"/>	⑫大妻の友人との交流
<input type="checkbox"/>	⑬正課外活動（部活動、サークル活動、ボランティア活動）
<input type="checkbox"/>	⑭学内行事（文化祭、体育祭、校友会、リーダーズ・キャンプ、所属学科の学会総会）
<input type="checkbox"/>	⑮学内キャリア支援プログラム（学内就職説明会、就職基礎講座等）
<input type="checkbox"/>	⑯課外資格サポート講座（課外パソコン講習、秘書検定対策講座、情報処理技術者試験対策講座等）

Q2. 母校で学び、卒業したことで身についたと思われる選択肢に○をつけてください。（複数回答可）

【選択肢】

<input type="checkbox"/>	①良妻賢母	<input type="checkbox"/>	②らしくあれ	<input type="checkbox"/>	③豊かな情操	<input type="checkbox"/>	④思いやりの精神
<input type="checkbox"/>	⑤感謝のこころ	<input type="checkbox"/>	⑥校訓「恥を知れ」	<input type="checkbox"/>	⑦女性の自立		
<input type="checkbox"/>	⑧校章が示す「心の円満」、「技能」						
<input type="checkbox"/>	⑨その他 []						

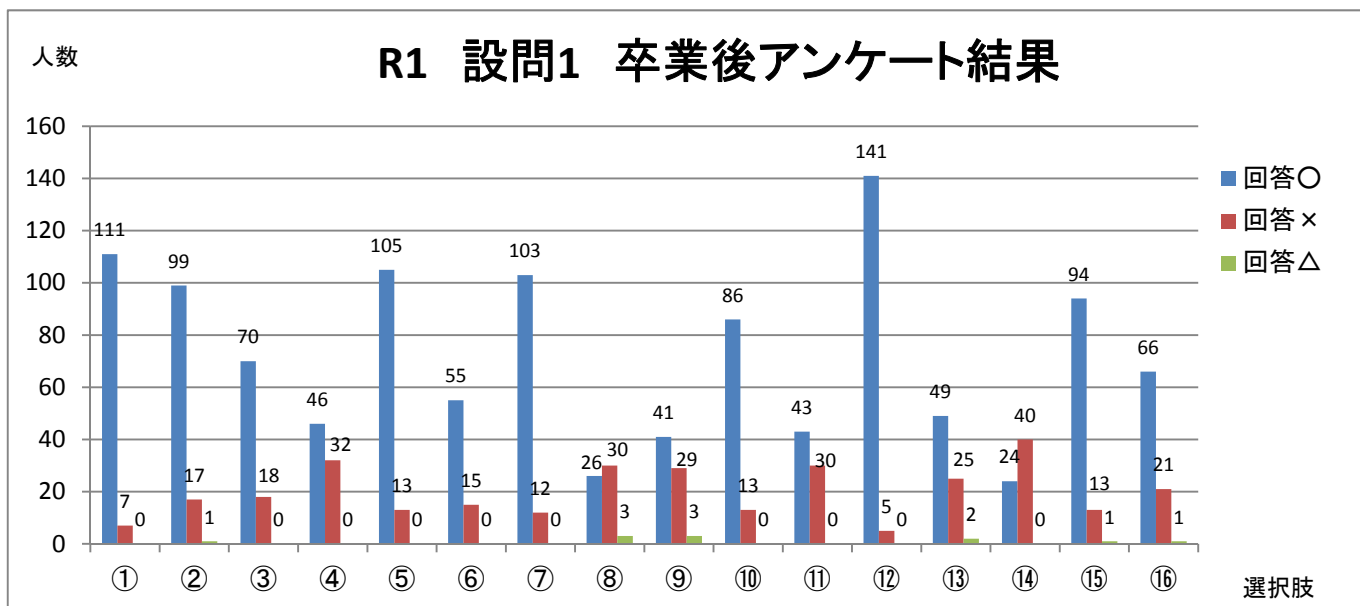
Q3. あなたは大妻女子大学もしくは大妻女子大学短期大学部を卒業したことを誇りに思いますか。
あてはまる選択肢に○をつけてください。

【選択肢】

<input type="checkbox"/>	①とても思う	<input type="checkbox"/>	②やや思う	<input type="checkbox"/>	③あまり思わない	<input type="checkbox"/>	④思わない	<input type="checkbox"/>	⑤わからない
--------------------------	--------	--------------------------	-------	--------------------------	----------	--------------------------	-------	--------------------------	--------

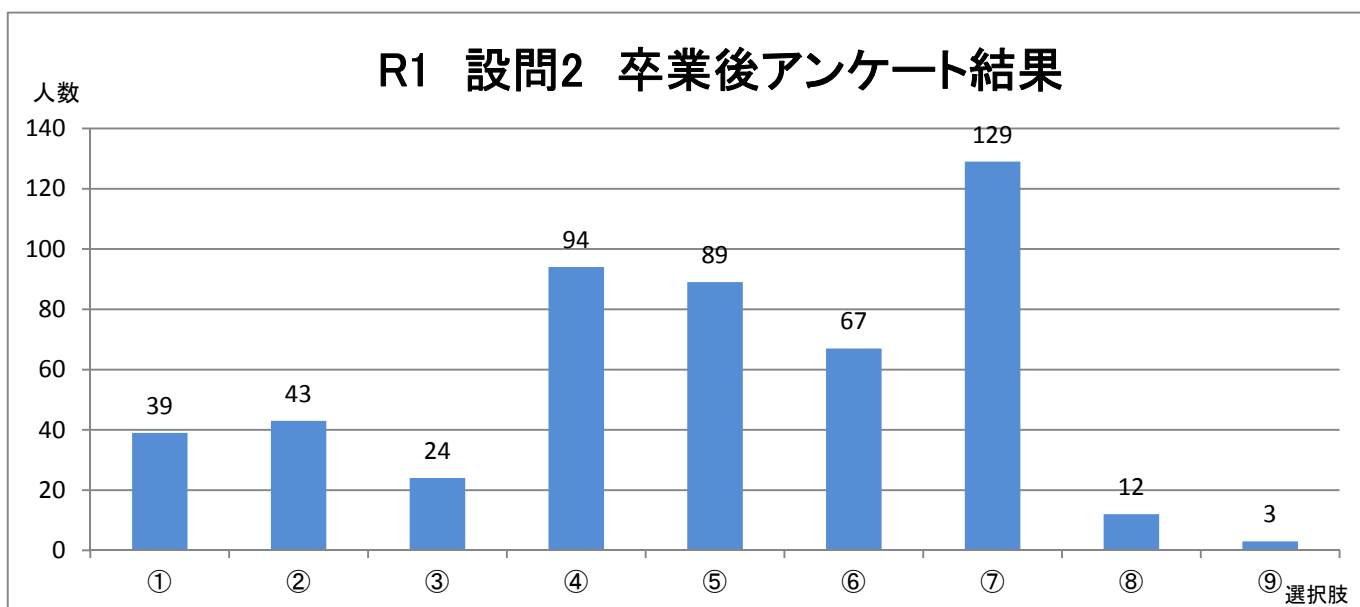
ご協力ありがとうございました。

<アンケート結果概要>



※△は選択肢になかったが回答で表記があったため結果に反映した

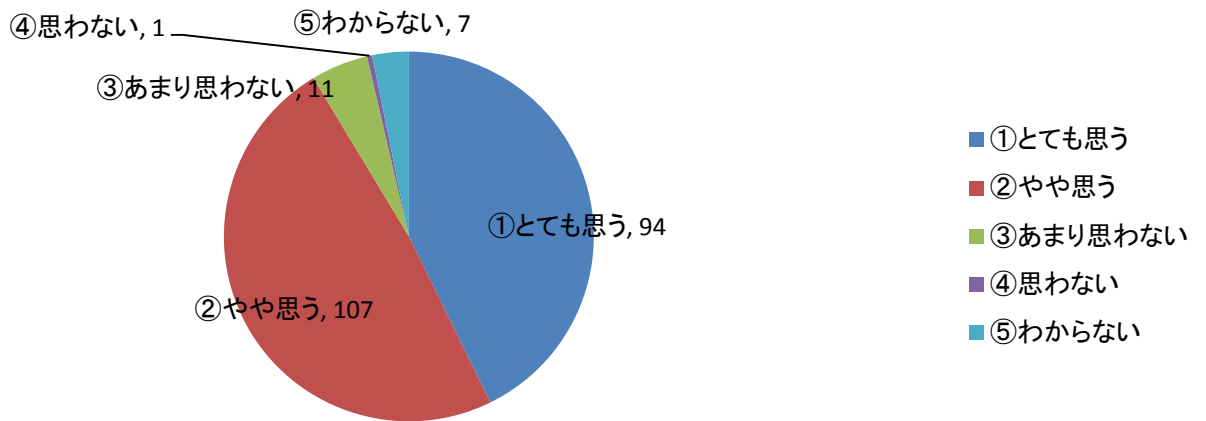
設問1の母校で学んだことや体験したことのうち、実社会で役に立っていると思われるものは選択肢⑫「大妻の友人との交流」と回答した卒業生が最も多く、次いで選択肢①「専門教育」、⑤「コンピュータ教育」⑦「資格取得」であった。また、これらの選択肢は、実社会で役に立っていないと思われると回答した卒業生も少なく、卒業後のキャリアや日常生活に良い影響を与えていると判断することができる。



※⑨自由記述には『礼儀、挨拶(実習を通して)』、『たおやかな女性になってください』卒業式の時に頂いたお言葉です。こちらのお言葉を胸に生きております』、『関係的自立がとても役に立っています』といった回答があった。

設問2の母校で学び卒業したことで身についたと思われるものは選択肢⑦「女性の自立」が最も多く、次いで④「思いやりの精神」、⑤「感謝のこころ」、⑥「校訓恥を知れ」であった。本学の教育目標でもある自立した人材の育成が成果を挙げていると思われる。

R1 設問3 卒業後アンケート結果



設問3の本学を卒業したことを誇りに思うかについては、選択肢①「とても思う」、②「やや思う」の合計が約9割に達している。